

提 案 概 要

実施期日	8月1日(金)
部 会 名	中学校 特別支援教育部会

1 提案テーマ 『キャリア教育への取り組み』～社会参加に向けた土台作り～

2 平成25・26年度神奈川県中学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

- ①保護者とともに指導の目標及び指導内容を明確にした「個別指導教育計画」を作成し、日々の教育活動や授業実践に生かす取組
- ⑤自立と社会参加に向けた進路指導の工夫・改善
- ⑥個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うための指導の充実

3 学習指導要領との関連（内容項目）

- ① 個別指導計画との関わりについて
特別支援学校学習指導要領 第1章 総則 第2節 教育課程の編成
第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項2 (1) 一部抜粋
学校の教育活動全体を通じて、個に応じた指導を充実するため、個別の指導計画に基づき指導方法や指導体制の工夫改善に努めること。
- ② 進路学習との関わりについて
中学校学習指導要領 第1章 総則 第4 指導計画の作成に当たって配慮すべき事項2 (5)
生徒が学校や学級での生活によりよく適応するとともに、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、ガイダンスの機能の充実を図ること。

4 実践に向けての課題意識

本学級には様々な生徒が在籍しているが、共通する課題は卒業後の生活の具体的なイメージをもてず、学習に課題意識をもって取り組めないことにある。個別指導計画の作成やキャリア教育への取組を通して、保護者・生徒双方に卒業後の生活に見通しをもたせ、生徒には将来への希望をもって自分の生活に主体的に取り組む人になってもらいたいと願っている。ここでのキャリア教育は、将来の社会参加のための土台作りと位置づけ、以下の視点をもって実施した。

5 実践の概要

- ① 主体的に身の回りのことをしようとする姿勢や意欲の育成（自立の視点から）
 - ・家庭や学校での役割分担（学校での弁当箱洗い、ゴミ捨ての授業、夏休みの宿題など）
- ② 課題に取り組む力を高める取組（働く視点から）
 - ・教科学習（カレンダー作り、紙工）
- ③ 自分も周囲も大切にする取組（社会性を高める視点から）
 - ・性教育講師招聘、交流および共同学習、ソーシャルスキルトレーニング
- ④ 将来に目を向ける活動への取組（卒業後の生活に見通しをもつという視点から）
 - ・職業体験、進路見学会、余暇支援

6 成果と課題

学校や家庭で役割分担を決め仕事をさせることにより、生徒の責任感や自己肯定感を高めることができた。また、カレンダー作りや紙工では教室を職場に見立て、報告・連絡・相談を徹底し、一定の時間作業に取り組む態度を育成することができた。進路見学会や性教育では、専門家によるアドバイスを頂き、保護者の安心や安定、生徒のもつ課題に対する理解を得ることができた。しかし、中には基本的な生活習慣の欠如やコミュニケーションについての課題が見られる生徒がいるのが現状である。自立のための基本的な生活習慣の確立やコミュニケーション能力の向上を図ることが、キャリア教育には不可欠な課題であると感じている。従って、今後も時間をかけて様々な視点から指導を継続していきたい。

7 予想される協議の柱

- ① 社会参加に向けた土台作りとしてどのような取組があるのか
- ② 自分の生活や課題に主体的に取り組ませるための工夫